

**製品名: IL10 (8U9) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12483**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:50-1:200, FC 1:100-1:500
分子量	21kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL10
別名	IL10; CSIF; GVHDS; IL10A; TGIF; Interleukin-10;
遺伝子 ID	3586.0
SwissProt ID	P22301
免疫原	ヒト IL-10 の合成ペプチド

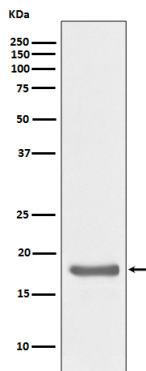
**背景**

インターロイキン-10 (IL-10) は、T細胞、NK細胞、マクロファージによって産生される抗炎症性サイトカインです。IL-10は、IL-10 RI と IL-10 RII からなる細胞表面受容体複合体に結合してシグナル伝達を開始し、Jak1 と Tyk2 の活性化、および Stat3 のリン酸化を引き起こします。免疫系の多くの細胞に作用する主要な免疫調節性サイトカインであり、顕著な抗炎症作用を発揮し、炎症による過度の組織破壊を抑制します。IL10 のメカニズムとしては、IL10RA と IL10RB からなるヘテロ四量体受容体に結合し、JAK1 と STAT2 を介した STAT3 のリン酸化を引き起こします (PubMed:16982608) 。その結果、STAT3 は核に移行し、抗炎症メディエーターの発現を促進します (PubMed:18025162) 。マクロファージや単球などの抗原提示細胞 (APC) を標的とし、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子 (GM-CSF) 、顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF) 、IL-1 $\alpha$ 、IL-1 $\beta$ 、IL-6、IL-8、TNF- $\alpha$  などの炎症性サイトカインの放出を阻害します (PubMed:1940799、PubMed:7512027、PubMed:11564774) 。また、MHC クラス II および共刺激分子の発現を抑制し、T細胞活性化を誘導する能力を阻害することで、抗原提示を阻害します (PubMed:8144879) 。さらに、mTOR シグナル伝達を含む必須代謝経路を再プログラムすることで、マクロファージの炎症反応を制御します (類似性による) 。

## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、Jak\_STAT、T細胞受容体、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、喘息、自己免疫甲状腺疾患、全身性エリテマトーデス、同種移植拒絶反応、

## 画像データ



Ramos 細胞溶解物中の IL10 発現のウェスタン ブロット分析。